

東京砂漠 阿修羅のごとく

中村蓉二本立てダンス公演

福生市民会館

12.
21
土



コンテンポラリーダンス公演

市民参加作品新作『東京砂漠』+再演『阿修羅のごとく』

2019年 12月21日(土) 17:00 開場30分前 受付開始45分前

福生市民会館 小ホール(つつじホール)

超濃厚コンテンポラリーダンスが福生にやって来る。

新作市民参加作品
『東京砂漠』

ダンス好きの中学生～オトナ12名が夜な夜な福生に集まり、練習を重ねています。遮るものが何もない砂漠の〈開放感〉は、同時に〈曝される恐怖感〉でもある。その感覚は、舞台上で踊ることに通じる気がします。煌々と照らされた踊る人々をご堪能ください。

振付・構成・演出：中村蓉

アシスタント・出演：田花遥

出演：石川美紀 大脇俊彦 大津歩未 大谷佐和子
貴田千尋 小林睦実 紫藤祐弥 清水琴 田中利奈
なかむらなおき 三鶴泰正 米倉宏明

再演
『阿修羅のごとく』

こんな「女」や「家族」や「人」がいて、世の中は愉快に哀しく豪快になるのでしょうか。「女は阿修羅だよ」「外側は、仁義礼智信を標榜してるんだが - 気が強くて、ひとの悪口言うのが好きでさ、怒りや争いのシンボルだそうだ」(向田邦子『阿修羅のごとく』より)

振付・構成・演出：中村蓉

出演：五十嵐結也 中村蓉

演奏：金井隆之 長谷川紗綾

映像：中瀬俊介

原案：向田邦子 著『阿修羅のごとく』

初演：2018年神楽坂セッションハウス



Photo:前澤秀登

中村蓉(ダンサー・振付家)

早稲田大学在学時コンテンポラリーダンスを始める。ルーマニア・シビウ国際演劇祭、東アジア文化都市式典(韓国光州・横浜)など国内外で作品を上演。二期会オペラ『ジュリオ・チェザレ』やロックバンドsumika「MAGIC」などMVの振付も担当。2018年に振付したドイツ・マインフランケン劇場製作オペラ『NIXON IN CHINA』(演出:菅尾友)はベルリン放送が選ぶ年間ベストプロダクション10に選出された。郷ひろみ「笑顔にカンパイ!」アブリル・ラヴィーン「Hello Kitty」MVにも出演。〈歌謡曲スイッチ〉と題し、八代亜紀「雨の慕情」など名曲の歌詞に登場する人物になり切って踊るダンスワークショップも各地で展開中。第1回セッションベスト賞(2012)、横浜ダンスコレクションEX審査員賞・シビウ国際演劇祭賞(2013)第5回エルスール財団コンテンポラリーダンス部門新人賞(2016)などを受賞。

チケット発売中 一般 1,500円 学生 1,000円 三歳未満の膝上無料 全席自由

チケット取扱 福生市民会館 受付 9:00~19:15 電話予約 042-552-1711 (9:00~22:00)

お問い合わせ 042-552-1711 (9:00~22:00) info@fussa-shiminkaikan.jp

主催:福生市民会館

福生市民会館

〒197-0011 東京都福生市福生2455番地

MAIL:info@fussa-shiminkaikan.jp

TEL:042-552-1711 開館時間:9:00~22:00 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日休館)

JR青梅線[牛浜駅]東口下車、五日市街道沿いに徒歩5分

<https://fussa-shiminkaikan.jp/>

